

学習を支える環境グッズ

札幌市立中田西小学校 磯島年成

日常、生活科の学習を進めていく上で、次のようなグッズを用意しておく
と便利です。生活科の学習だけではなく、他の学習を進めていく上でも役立
ちます。

<せいかつか時計>

- マグネットがつく材質で文字盤をつくり、時計の針は、マグネットを使用。
- 活動前に、活動の終了時刻を知らせるとともに「せいかつか時計」の時計の針を動かして終了時刻を示します。
- 子どもたちは、見通しを持って活動できます。また、日常使うことで、算数の「時刻と時間」の学習にも役立ちます。

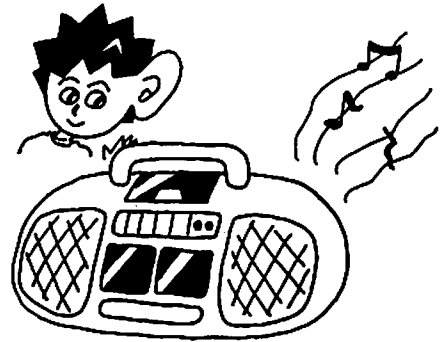
時計の針は、マグネットを使用。



文字盤は、お菓子の缶の蓋などマグネットがつく材質を使用。色画用紙を丸く切ってその上に貼る。

<オルゴール・ミュージック・テープ>

- 活動の終了時刻の少し前にオルゴール曲をかけ、終了時刻が近いことを知らせます。
- 「はい、活動時間が終わりです。」と、教師が大きな声で告げる必要がありません。
- 心地よいオルゴールの曲なので子どもの活動を妨げることもありません。
- 5分用、10分用などいろいろな時間帯のテープをつくっておくと便利です。
- 「せいかつか時計」と合わせて利用すると効果も大です。



<先生の似顔絵ハンコ>

- 先生の似顔絵をシャチハタのハンコにすることができます。
- 消しゴムを使い、似顔絵を彫ってつくることもできます。
- 子どもの書いたカードなどに先生からのメッセージとして「似顔絵ハンコ」を押してからコメントを書いてあげると効果バツグン。先生から、直接、言葉掛けをされたように感じます。



さいごまで
よくがんばって
つくったね

<ルーペ&トイレットペーパーの芯>

■植物や虫の細かいところをルーペを使って見る時、低学年の子どもは、なかなか焦点を合わせることができません。

そんな時に、ルーペといっしょに「トイレットペーパーの芯」を使うと拡大して上手に物を見ることができます。

■①ルーペの上にトイレットペーパーの芯をのせます。

②ルーペの反対の方のトイレットペーパーの芯に目にしっかりつけます。

③片方の目をつぶり、上記の状態を対象物に近づけたり、遠ざけたりして焦点を合わせます。

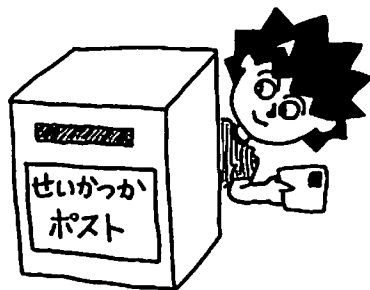
■ルーペだけの時に比べ、焦点が合わせやすく、よく見えます。また、トイレットペーパーの芯の他にも「ビニルテープ」などでもできます。



<せいかつかポスト>

■子どもが、書いたカードなどを入れるポスト。先生が、カードを集めなくても、子どもは、活動の流れの中でカードをポストに入れることができます。

■段ボールの箱に色画用紙を貼り、箱の表にカードの入り口を、裏には取り入れ口を付けた簡単なものです。



<写真拡大機>

■写真などを大きくして見たい時に使うと便利です。

■8ミリビデオカメラと三脚、テレビを使います。

■8ミリビデオとテレビを接続し、カメラをモニター状態にして、写真を撮るだけです。

